

看護学専修 看護学の実践・教育・研究者(老年看護学) 履修モデル

【期待される能力・修了後の主な進路】

健康課題をもつ人々に質の高い看護サービスを有効かつ適切に提供するのみならず、看護に関わる事象を検証し、看護を発展させる能力を有することが期待される。

修了後は、保健・医療・福祉機関、教育機関等における実践および教育・研究に携わる。

2年次

【特別研究】

看護学特別研究Ⅰ(6)

看護学特別研究Ⅱ(6)

1年次

【共通必修科目】

IPW論(専門職連携実践論)(2)

【共通選択科目】

保健医療福祉概論(2)

保健医療福祉研究法特論(2)

国際保健医療福祉論(2)

高次脳機能と病態制御(2)

【専門科目】

看護理論(2)

看護管理システム論(2)

地域ケア支援論(2)

老年看護援助論(2)

【学士課程において身につけておくことが望まれる能力】

高齢者やその家族、地域社会への関心をもち、老年看護を追究する姿勢を有すること。加えて高い倫理観や豊かな発想と柔軟性をもとに看護を展開できる力と、多職種が連携したチーム活動を推進する意志を持つことが望まれる。